

〈出題意図〉

本文は近年注目されている STEM (science, technology, engineering and mathematics) 人材について書かれた New York Times のコラムである。筆者は、STEM 専攻の初期キャリアと長期的展望について述べる一方で、技術の進化により、現在求められているスキルが陳腐化しやすく、年齢を重ねた STEM 卒業生は新しいスキルを学ぶ必要が生じる点にも言及している。一方で、リベラルアーツ専攻の卒業生は「問題解決能力」や「批判的思考力」などのソフトスキルを身につけており、これらは長期的に多様な職業で価値を発揮すると述べ、大学教育においては 40 年間の職業人生に備えるために幅広い教育が重要であると主張している。受験生には、将来のキャリアにおいて求められる非認知能力や批判的思考力の重要性を考え、自らの学びをより広い視点で捉える契機としてほしいと願い、この文章を出題した。

〈評価のポイント〉

問 1

英語の長文を、内容を理解しながら最後まで読むことが出来ているかどうかをみた。

問 2

筆者の意図を正確に読み取ることができるかどうか、また文脈から適切な英語を推測できるかどうかを見る問題である。与えられた時間の中で、求められた情報をすばやく探すことが出来るかをみた。

問 3

本文の内容を読み取り、テーマに気づくことができているかをみた。

問 4

本文の内容を読み取り、テーマに気づくことができているかをみた。

問 5

本文の内容を読み取り、テーマに気づくことができているかをみた。

問 6

日本語で誤字脱字なく、簡潔に筋道立ててまとめる力があるかどうかについてみた。

問 7

自分の考えについて具体的な経験談を挙げながら、まとまりのある英文で自分の意見を述べる事が出来るかどうかをみた。また、合わせて、文法力、語彙力、スペリング、などの英語の知識についてもみた。

〈採点講評〉

問 1 正解は、(A)。

ちなみに、(A) 以外の選択肢については：

(B) “soft-skills” とはソフトウェア開発のスキルであるとする記述が誤り。

(C) STEM 生は年齢を重ねるほど、若い就労者との競争がなくなり給与が増加するとする記述が誤り。

(D) STEM 専攻を避けるべき、とは書かれていないので誤り。

問2 正解は、skills, jobs, professions, majors, occupations, advantage, development など。

筆者の意図を正確に読み取ることができるかどうか、また文脈から適切な英語を推測できるかどうかをみる問題である。与えられた時間の中で、求められた情報をすばやく探すことが出来るかをみた。

問3 正解は、(B)。

本問では、STEM 専攻の卒業生の初期キャリアと長期的展望について、本文についての理解をみた。具体的には、STEM 分野のスキルが技術の進化によって陳腐化しやすいという本文の主張を正しく読み取れるかを確認した。比較的正答率は高かった。

問4 正解は、(C)。

STEM 専攻のカリキュラムが長期的なキャリア形成にどのように貢献すべきかについての理解を問うことで、短期的な技術習得だけでなく、長期的なキャリアに備えた幅広い教育の重要性について書かれた本文の主張を正しく読み取れるかを確認した。比較的正答率は高かった。

問5 正解は、(B)。

本文では、大学教育は40年間の職業人生に備えるために幅広い教育が重要であると述べられており、リベラルアーツ教育が提供する「批判的思考力」や「問題解決能力」の価値を強調している。教育の目的は単なる職業訓練ではなく、長期的なキャリアや人生全体を見据えた「人間形成 (the development of the whole person)」にあるという本文の主張を正しく読み取れるかを確認した。正答率は低かった。異なる視点からの意見を総括的に読み取る力が必要と思われる。

問6

日本語で誤字脱字なく、簡潔に筋道立ててまとめる力があるかどうかについてみた。内容を適切にまとめた要約が多く、全般的によくできていたが、内容を理解していないと思われる解答も見受けられた。リベラルアーツやSTEM教育など、日頃から新聞等の情報に触れ、幅広い知識を身につけることが望まれる。また、文字が雑に書かれている解答が多かった。減点にはならないが、丁寧な文字で書くよう心がけてほしい。

問7

自分の考えについて具体的な経験談を挙げられていない解答が見受けられた。傾向としては、Chat GPT や AI などに言及した解答が多かった。

Firstly ～, Secondly ～など、しっかりとした構造で英文を書くことができていた。一方で、本文の内容とは全く無関係に、あらかじめ用意してきたであろうと推測される英文を書いていた人もいた。

L と R を混乱したスペルミス(例:plobrem)や、三単現の s の誤用など、基本的なミスで減点されるケースがあり、残念だった。

